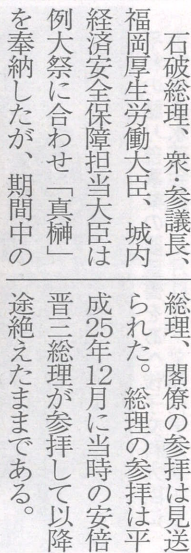


[お申し込み・お問い合わせ] 靖國神社事務所 献灯係 〒102-8246 東京都千代田区九段北 3-1-1 電話:03-3261-8326(代表) FAX:03-3261-8320(直通)

石破総理が真榊を奉納

靖国神社春季例大祭は4月21日、当日祭に先立って、神職、そして祭儀に用いられる諸具すべてを祓い清める「清祓」で始まり、翌22日には「当	総代など約550人が拝殿と中庭に参列し、大塚海	宮司が神前に奉り、勅使が御祭文を奉上し、玉串を奉奠して拝礼した。	清神社本庁総長、泉和慶
日祭」が斎行された。	夫宮司が祝詞を奏上した。	勅使退下後には、国学院大学フォイエール・コ	山恭子靖国神社崇敬奉賛
22日午前10時、崇敬者	10時30分頃には、天皇陛下より遣わされた勅使・前田章利掌典が随員	「靖国神社の歌」を奉唱。	会会長らが本殿に進み、
	を従えて本殿に昇殿。天皇陛下よりの幣帛を大塚	大塚宮司に続いて田中恆	玉串を奉り、拝礼した。
			23日午後1時30分には
			彬子女王殿下と瑤子女王
			殿下が参拝された。



総理、閣僚の参拝は見送られた。総理の参拝は平成25年12月に当時の安倍晋三総理が参拝して以降途絶えたままである。

語り部活動方針・事業計画

令和7年3月11日、7年度の平和の語り部事業に本会が採択された。同月31日は、7年度予算が成立し、昨年度2500万円の新規補助事業は、4倍の1億円となった。

【活動方針】

に奉仕する遺族会の姿勢を確実に示さなければならぬ。遺族会活動の根幹であり、今後の主事業となる本事業の活動方針、事業計画は以下の通り。

本事業の予算が大幅に増額されたことは、長年にわたり全国各地で実施されてきた遺族会の語り部が評価された証左である。つまり本事業が戦争の記憶の伝承の重要性を提起させるものと受け止められたと考へる。

語り部事業周知の年と位置づけ、派遣講話に加え、遺族会主催の講話会等を実施。自治体、学校、報道に遺族会の目指す語り部を周知する機会とし、令和8年度からの学校等における更なる利用拡大を図る。

他方、昨年1147回の実施中、学校での講話が2割と伸び悩んでいる。そこで、終戦80年の機会を捉え、本事業を通して恒久平和を希求し、社会

事業計画】
○広報戦略
体験者の記憶、地域に沿った歴史を多様な形態で伝える本事業の周知のため、あらゆる機会を通

○育成戰略

①各支部36回（全国で1
500回）

(2)実施内容

本事業への要望の増加に備え、研修会（講話会、自分史座談会等）をより多く開催し、育成に努める。

(1)目標回数

自治体、学校、報道に
向けて、事業の重要性、
ニーズを高めるための効
果的な広報活動を行うた
め、各部の担当、内容、
回数は以下の通り提案。
①追悼式における語り部
（親会主導）各支部15回
目標 追悼式を自治体、

学校、報道向けの事業周知の機会と捉え、行政の協力を得て（時間、場所語り部を広報する。

ア. 講話型（追悼の辞の活用）

の座談会

②自分史座談会・定期講話会等（女性部主導・各支部6回目標）定期的な講話会を開催し、活動者の育成の場とする。（新規活動者の発表や構想を話し合う場とする。青年部による記念誌の朗読など

ど。公開することで、遺族会の語り部の目指す方向性を伝える)

あわせて、活動者育成のための自分史座談会、学生向け夏休みの課題企画を開催する

③慰霊碑を活用した体験型(青年部主導…各支部

郷土の戦争の記憶を考
える遺構として慰霊碑の
活用を提案。令和7年度
実施の慰霊碑調査を兼ね
た企画としても活用す

ア、清掃活

われを伝える)
イ. スタンプラリー
ウ. 講話+献花
④ 既存行事を活用した広報(事務局主導…各支部9回目標) 既存行事(慰霊祭、慰霊碑清掃、通常会議等を活用し、事業

の周知を図る。

ア. 沖縄平和祈願慰霊大
行進

イ. 慰霊祭、慰霊碑清掃

⑤その他

ア. 施設 遺品等展示資
料館、昭和館など）の見
学後の生徒への講話、対
話型の組み合わせ。

イ. 次世代と取組める語り部として、朗読劇（出征する前夜の家族の様子や記念誌の朗読も含む）※講話・対話・体験型は組み合わせることで、よ

文科・厚労両大臣に理解求める

あべ文科大臣に対し、令和6年度国の新規補助事業平和の語り部事業に本会が採択されたこと。戦争の悲惨さ、平和の尊さを、身を持って体験した遺族の記憶と地域の歴史を、講話型を含む多様な活動を通して、青年部と共に後世代へ伝承することとを伝え、昨年同様、教育委員会を通じた事業の周知と、事業内容を教育委員会や学校関係者へ披露する機会を要望し、水落会長は通達による周知を依頼した。

あべ大臣は、本会の要望を受けて、同省のサイトに事業紹介の動画を掲

れを聞きな

話＋体験）。講話を聞いた後、座談会（講話＋対話を行う等）

本部は語り部事業周知の為にチラシ、動画を制作した。各支部での活用を期待したい。詳細は広報室まで。

平和の語り部

文科・厚労両

あべ文科大臣に対し、令和6年度国の新規補助事業「平和の語り部事業」に、本会が採択されたこと。

戦争の悲惨さ、平和の尊
さを、身を持って体験し
た遺族の記憶と地域の歴
史を、講話型を含む多样
な活動を通して、青年部と
共に後世代へ伝承するこ

参拝減少傾向に拍車

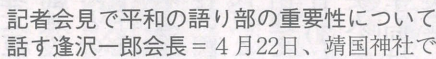
4月22日、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は、自由民主党、立憲民主党、日本維新の会、

新の会 国民民主党などの衆・参国会議員本人72人が揃って参拝した。また、大祭期間中に閣僚の参拝はなかった。

同会会長の逢沢一郎衆議院議員は参拝後の記者会見で、日本遺族会が平和の語り部事業を立ち上げたことに触れ、「戦争の悲惨さ、平和の尊さを

昨年の例大祭から参拝者数が1000人を切り、危機的状況はさらに増した状態となった。このままだと靖国神社の存在が形骸化され、新たな国立の戦没者追悼施設の建設構想の再燃が現実味を帯びてくる。

国会議員の大半が戦後世代となる今日、国難に



—みんな

参拝する国会議員の会」で参拝した72人の衆・参議員は次のとおり。

(党派別) 敬称略

議員本人参拝

▼衆議院

【自由民主党】逢沢一郎
石橋林太郎、井上信治

紹介を傳達すると共に、文科省との連携を約束した。

本会は、平和の語り部事業で、自治体、教育委員会向けのチラシに加え、動画を制作した。今後各支部へ共有し事業周知のツールとして活用を促す。

本会事業参加者
 本会の事業に参加する
 情報は「個人情報保護
 重に扱います。日本選
 針につきましてはホー
 か、本会にお問い合わ

【参政党】

川里奈
▼参議院
【自由民主党】青山繁晴、
赤池誠章、有村治子、石
井正弘、磯崎仁彦、江島
潔、佐藤正久、中曽根弘
文、永井学、野村哲郎、
羽生田俊、堀井巖、舞立

昇治、牧野たかお、松村祥史、三宅伸吾、宮本周司、山谷えり子、山本啓介、山本順三、和田政宗【日本維新の会】梅村みずほ

「NHKから国民を守る党」齊藤健一郎、浜田聡【参政党】神谷宗幣

の皆様へ

るに当たり、得た個人
法」の定めに則り、厳
族会の個人情報保護方
ホームページを参照され
せください。

殉じた戦没者の御霊を祭る靖国神社のなりたちや、戦没者遺族の精神的支柱である靖国神社への参拝は、恒久平和の願いを新たにする場所である意義について、より一層丁寧に伝え続けなければ

井辰震、上野賢一郎
大岡敏孝、大西洋平、大野敬太郎、梶山弘志、加藤竜祥、金子恭之、栗原涉、佐々木紀、塩崎彰久、新谷正義、鈴木貴子、関芳弘、高木啓、田中良生、田村憲久、津島淳、富樫

博之、長坂康正、中野英幸、中村裕之、仁木博文、西田昭一、根本幸典、長谷川淳二、古屋圭司、宮下一郎、築和生、山口俊一、山下貴司、山本大地、吉田真次

【立憲民主党】源馬謙太郎

【日本維新の会】東徹、奥下剛光、黒田征樹、和田有一朗

を展開する。

分着作に因いて、随情、意動

「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した72人の衆・参議員は次のとおり。

(党派別、敬称略)

議員本人参拝

▼衆議院

【自由民主党】逢沢一郎、石橋林太郎、井上信治

【国民民主党】岡里紇子

【日本保守党】河村たかし

【参政党】北野裕子、吉川里奈

▼参議院

【自由民主党】青山繁晴、赤池誠章、有村治子、石井正弘、磯崎仁彦、江島潔、佐藤正久、中曽根弘文、永井孝、野村哲郎、羽生田俊、堀井巖、舞立

紹介を傳達すると共に、文科省との連携を約束した。本会は、平和の語り部事業で、自治体、教育委員会向けのチラシに加え、動画を制作した。今後各支部へ共有し事業周知のツールとして活用を促す。

【参政党】 神谷宗幣

昇治、牧野たかお、松村祥史、三宅伸吾、宮本周司、山谷えり子、山本啓介、山本順三、和田政宗、**【日本維新の会】** 梅村みずほ

「NHKから国民を守る党」齊藤健一郎、浜田聡

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報は一「個人情報保護法」の定めに則り、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合せください。

次世代が遺骨収集体験を語る

平和の語り部第二回定期講話会

戦争体験者の遺族と戦後生まれの青年部が共に記憶の伝承に取組む遺族会の平和の語り部事業の普及、拡大を図るため終戦80周年記念事業として全国で講話座談会を実施する。本部主催第二回定期講話会は次世代青年部の講話を開催。首都圏をはじめ、遠方からも遺族が駆け付け、幅広い世代が集い記憶の継承を話し合った模様を紹介する。

4月13日、次世代の語り部として山形県遺族会山岸正昭青年部長の硫黄島での遺骨収集体験を聴講。来場者は65人にのぼり、一都三県に加え、青森、福島、長野、山梨、京都からも駆けつけ、千代田区内の二松学舎大学より准教授、学生6人、区内学校関係者4人の参加を得た。報道も2社来場した。

まず、本部より語り部事業の説明の後、山岸氏の講話を聴講。内容は令和6年1月から2月に参加した硫黄島遺骨収集派遣団での体験。靖国神社で奉告参拝。出発から硫黄島到着後、派遣団の一員のスケジュール、収容から東京へ、遺骨引渡し式で厚労省職員へ手渡すまでの詳細を説明。昭和館デジタルアーカイブより借用した映像、実物資料の写真画像をみせることで、当時の硫黄島の状況への理解を深めた。加えて、共に遺骨収集に携わった遺族宛に戦友から送られた手紙を紹介し、記載された戦時下の緊迫した様子を伝え、更に硫黄島で戦没した父を思い遺骨収集に長年携わった永澤庄一郎元宮城県連合遺族会会長のオーラルヒストリー（昭和館制作）には多くの来場者が涙した。

山岸氏は、自身は戦後生まれだが、遺骨収集の体験に加え、当時の様子を映像や手紙などの資料を用いることで体験者の思いの一端を伝えること

語り部事業普及・拡大へ

沖縄県での取り組み

語り部事業の普及・拡大に向け、沖縄県で行われた取組みを紹介する。

4月5日、平和の語り部研修会を開催し、各市町村支部役員約85人が参加した。瑞慶山良祐副会長の司会で開会し、挨拶に立った我部政寿会長は「高齢化による県内支部の解散が報道されたが、今もなお、失意の中、懸命に家族を支える母の姿は鮮明に思い出される。だからこそ記憶を語り継ぐ」と呼びかけた。

水落敏栄本会長は、昭和27年琉球遺族会と



研修会で記憶の伝承を呼びかける我部会長
＝4月5日、沖縄県で

して結成され、100万円の寄付を元手に職業補導所を設置した歴史を伝え、母が守りぬいた家族、平和を次世代に伝承しようと呼びかけた。

令和5年度より青年部と共に組織的に開始した語り部は、遺族の記憶と地域の歴史を伝えるもの。県民の4人に1人が亡くなり、国内唯一の戦場となった沖縄では、家族のほとんどを亡くした遺族が多く、壮絶な体験を語ることは難しいとの声が上がっていた。

状況を取ったが、自身の体験をつまびらかにすることに抵抗感がある一方で、地域の児童や保護者に対し、慰霊碑前で短時間の講話、共に献花、拝礼などを通して伝承する「沖縄スタイル」であれば、自然体で実施出来ることが分かった。

今後は全国から平和祈念公園内の各都道府県



硫黄島での遺骨収集体験を語る山岸青年部長（山形県）
＝4月13日、九段会館テラスで

は出来ると思うと語り、共に語り部となろうと呼びかけた。

講話後、硫黄島で肉親を亡くした遺族等に加え、学生の代表者による座談会を実施。前回意見交換を要望する声が多数あったため、会場全体の相互意見交換とした。主な意見は以下の通り。

○体験者の意見

父が硫黄島で戦没。DNA鑑定に申込んだが判明せず。生涯の願いは父の遺骨を母と同じお墓に

入れること（山梨県）。遺骨収集で初渡島した

夜、初めて「お父さん」と叫んだ。闇夜のこだまは、父からの返事と思えた。母の弟が戦没。その他家族で4人の戦没者。自身は複数回遺骨収集参加。若い学生に40回以上遺骨収集へ。まだまだ参加したい（神奈川県）

父が硫黄島で戦没。DNA鑑定に申込んだが判明せず。生涯の願いは父の遺骨を母と同じお墓に

夜、初めて「お父さん」と叫んだ。闇夜のこだまは、父からの返事と思えた。母の弟が戦没。その他家族で4人の戦没者。自身は複数回遺骨収集参加。若い学生に40回以上遺骨収集へ。まだまだ参加したい（神奈川県）

父が硫黄島で戦没。DNA鑑定に申込んだが判明せず。生涯の願いは父の遺骨を母と同じお墓に

夜、初めて「お父さん」と叫んだ。闇夜のこだまは、父からの返事と思えた。母の弟が戦没。その他家族で4人の戦没者。自身は複数回遺骨収集参加。若い学生に40回以上遺骨収集へ。まだまだ参加したい（神奈川県）

父が硫黄島で戦没。DNA鑑定に申込んだが判明せず。生涯の願いは父の遺骨を母と同じお墓に

夜、初めて「お父さん」と叫んだ。闇夜のこだまは、父からの返事と思えた。母の弟が戦没。その他家族で4人の戦没者。自身は複数回遺骨収集参加。若い学生に40回以上遺骨収集へ。まだまだ参加したい（神奈川県）

父が硫黄島で戦没。DNA鑑定に申込んだが判明せず。生涯の願いは父の遺骨を母と同じお墓に

夜、初めて「お父さん」と叫んだ。闇夜のこだまは、父からの返事と思えた。母の弟が戦没。その他家族で4人の戦没者。自身は複数回遺骨収集参加。若い学生に40回以上遺骨収集へ。まだまだ参加したい（神奈川県）

今後の予定 (原則：第2日曜。ただし、8月3日のみ第1日曜)			
開催日時	演目	場所	内容
5月11日	体験型講話型	千鳥ヶ淵戦没者墓苑	千鳥ヶ淵戦没者墓苑の設立経緯 清掃体験（遺児・青年部・学生）
6月8日	講話型座談会	につぼん丸船内	講話（遺児） 自分史座談会等
7月13日	講話型体験型	九段会館テラス	家族で取り組む夏休みの課題 （遺児・青年部） ワークショップ
8月3日	講話型体験型	九段会館テラス	家族で取り組む夏休みの課題 （遺児・青年部） ワークショップ

令和7年度 参加者募集

遺児慰霊友好親善事業

日本遺族会が厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では、令和7年度の参加者を募集する。本事業は、終戦80年及び事業実施35周年を節目として本年度で最後の実施となる。

なお、戦争の悲惨さ、平和の尊さを語り継ぐことを目的に、青年部育成の一環として、付添者で戦没者の孫、ひ孫、甥、姪は国より3分の1の補助が受けられるため、一人でも多くの遺児に青年部と共に参加願いたい。

募集要項は次の通り。

▼時期及び地域 令和7年11月予定・フイリピン（1次）、令和8年3月予定・フイリピン（2次）

▼募集人員 各120名

▼参加費 10万円。

※東京等の集合場所までの交通機関は自身の手配となり、国内移動に係る国内交通費等や渡航手続き手数料等の費用は個人負担となる。

※付添者の補助は、実際に掛かる旅行費用の3分の1が対象となる。

▼参加資格 戦没者の

アメリカ慰霊施設訪問

終戦80年記念事業参加者募集

本会は、「終戦80周年記念事業・アメリカ慰霊施設等訪問」の参加者を募集している。

本事業は、ワシントンDCのアーリントン墓地、ハワイ州ホノルルのアリゾナ記念館等の慰霊施設を訪問する。また、

日本遺族会への賛助金のお礼

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せていただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。

賛助者名（敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等）

清水一徳、渡邊吉助、宮内剛、小坂博道、工藤みや子、温泉川孝、山崎功、藤原範幸、内山美代子、黒田ナホ子、清水良祐、岩澤定、山川敦子、楠本武、田村文男、深井征司、浅井幸子、保本登茂子、吉國洋子、石崎弘子、秀平良子、榎本澄江、チヨ

アメリカ慰霊施設訪問

終戦80年記念事業参加者募集

本会は、「終戦80周年記念事業・アメリカ慰霊施設等訪問」の参加者を募集している。

本事業は、ワシントンDCのアーリントン墓地、ハワイ州ホノルルのアリゾナ記念館等の慰霊施設を訪問する。また、

品業
留返還事

関係者と協議、連携強化
水落会長が米・オレゴン州を訪問

本会が厚生労働省から委託を受け実施している「戦没者等の遺留品の返還事業」で、水落敏栄会長はアメリカのオレゴン州を訪れ、OBONソサエティの共同代表、理事と面会し、さらに連携を強固にして事業に取り組むことを確認し、本事業の再委託契約を締結した。また、同州選出の上院議員事務所を訪れ、事業への理解と支援を要請した。

水落会長(他事務局1人)は、4月22日から27日の期間でオレゴン州ポートランド及びアストリアを訪れ、現地関係者と戦没者等の遺留品の返還事業の今後の取り組み

方、問題点を協議した。総領事、村上理沙領事と面会し、一つでも多くの寄せ書きの丸等の遺品が遺族の元に返還されるよう本事業へのさらなる協力をお願いした。これに表同席のもと、等々力研

のジェフ・マークレー上院議員事務所、グスタボ・ゲレロ代表秘書と面談し、財政的に困窮しているOBONソサエティの現状を伝え、戦勝国側であるアメリカ政府に事業への理解を求め、支援を検討するよう要請した。その後、エバグリーン航空博物館を訪れ、スコット・レイニー館長と面会した水落会長は、同博物館が所有していた軍事郵便(116枚のハガキ等)の調査をOBON

ソサエティへ移管したことに謝意を伝え、本会としても一枚でも多くのハガキ等が遺族へ返還されるよう広報及び捜索活動に努めることを約束した。

翌24日には、OBONソサエティの本部があるアストリアで、同団体の共同代表と理事4人と会合を開いた。

没者遺族(特に遺児)が高齢化する中、遺品を受け取ることで時間的負担が軽減され、戦没者等の遺品を早く「日章旗等の遺品を早く遺族へ返還するために、

OBONソサエティの皆さんと一緒に一層努力していきたい」と述べた。

ミュージアムは、呉市の歴史と、近代化の礎となった造船・製鋼などの科学技術を紹介する施設で、現在はリニューアルのため休館中となっている。展示では、高松宮喜久子妃殿下が戦死者を悼んで詠まれた直筆の和歌や、戦艦「長門」の関連資料などが紹介される。本展示に関する問い合わせは、昭和館学芸部図書情報部(電話03-3222-2577)まで。

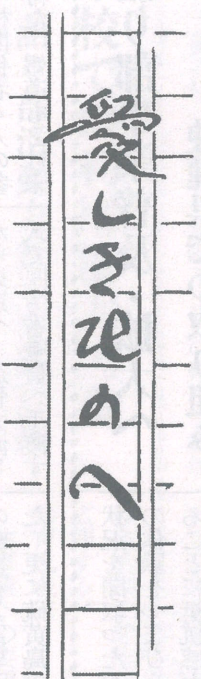
昭和館
広島で巡回特別企画展開催
大和ミュージアムと合同で

昭和館は、戦後80年記念事業として、通年で各種企画を予定しており、現在開催中の写真展は好評を博している。

「石川光陽写真展」第2期「戦時下の東京」は2階ひろばで開催中。警視庁で写真撮影を担当していた石川光陽の昭和12

年から終戦ごろまでの写真40点を紹介する。親子連れをはじめ幅広い世代が会場を訪れ、戦時下の日常や空襲被害を記録した貴重な写真を熱心に観覧している。

また、平成13年から毎年開催している巡回特別企画展は、戦後80年企画



遺言状

昭和二十年十二月九日
陸軍兵長 塚元 三郎
東京中野区小滝町出身 二十六歳

父上様 自分が亡き後は貯蓄等一切身上の事は万事宜敷く御願ひ致します。先立つ不孝をお赦し下さい。

母上様 自分は母上様に幼少の頃より色々御面倒を掛け致し、死に瀕せんとせる私を救ひ下された事に對し深謝致して居ります。何分御老令の事として御体を大事に充分保護されんことを希ひます。(中略)

最後に自分は一般兵として、御國の為に笑って死んで行きます。大日本帝國萬歳！

天皇陛下萬歳！

御両親様、御達者で、先立つ不孝を御詫び致します。

では、兄弟姉妹親戚御一同様、御達者で、深く護國の花と散ります。

兄弟姉妹様、父上母上を宜敷く御支援下され、塚元家の繁榮を心から祈ります。

【令和七年五月靖国神社社頭掲示】
愛しきものへ
塚元三郎



エバグリーン航空宇宙博物館館長に事業の意義を説明する水落会長
= 4月23日、オレゴン州マクミンビルで

九段短歌

選者 村田 信昌

桜みちて御霊の数の花びらかすかに聞こゆ父の声か
ひとり去りたり去りの遺児来し方を父と語らう星々に
遺族会の語り部講義に児童らの真剣な眼に魂ゆさぶら
千葉県 石橋 嘉子
山梨県 土屋 喜雄
愛知県 高橋 園子
滋賀県 雨森 貴子



昭和館 大和ミュージアム 合同企画展
令和7年(2025)5月30日(金)~6月5日(木)
無入場料

父逝きしその場を見るは耐え難と言いつついに天国の妻
炸裂の音も聞きしか巡拝の地にて拾ひし小きこの石
京都府 田中 幸巳
佐賀県 松尾美津子

靖国神社の桜の梢に咲いて逢おう、と誓い合つて散華された英霊達。その約束を果たすべく毎年境内を訪れる戦友の方々。散り際の桜から緑深い英霊の面影を重ね合わせる遺族の方々。靖国神社の桜が特別な桜である所以でありましょう。今月のお歌に「父逝きしその場を見るは耐え難と言いつついに天国の妻」とありました。父親の戦没地を訪れることはどうしても出来ない。深い悲しみ故からのご決意であったのでしようね。今は天国で再会し、お父様とゆつくりと語り合つていらつしやる事であります。

「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」(第十二回特別弔慰金)について、以下のとおり請求手続きが始まっています。

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金請求手続きが始まる

「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」(第十二回特別弔慰金)について、以下のとおり請求手続きが始まっています。

一、令和七年四月一日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
二、戦没者等の子
三、戦没者等の①父母、②孫、③祖父母、④兄弟姉妹
四、右記以外の戦没者等の三親等内の親族(甥姪等)※戦没者等の死亡時まで引き続き一年以上の生計関係を有した方に
支給対象者
令和七年四月一日(基準日)時点で、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護

法による遺族年金」等を受ける戦没者等の妻や父母がいない場合に、次の順番による先順位の遺族一人に支給されます。

一、令和七年四月一日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
二、戦没者等の子
三、戦没者等の①父母、②孫、③祖父母、④兄弟姉妹
四、右記以外の戦没者等の三親等内の親族(甥姪等)※戦没者等の死亡時まで引き続き一年以上の生計関係を有した方に
支給対象者
令和七年四月一日(基準日)時点で、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護

請求窓口
詳しくは、お住まいの市区町村の援護担当課へお問い合わせください。